

昭和37年春季年会（東京）

講演予稿集

於 東大医学部総合中央館

日本天文学会

日本天文学会 1962 年春季年会

プログラム

◇日 時 昭和 37 年 5 月 10 日 (木), 11 日 (金), 12 日 (土)

◇場 所 東大医学部総合中央館 3 階

	午前 (9時より)	午後 (1時より)	夜
10 日 (木)	研 究 発 表	研 究 発 表	
11 日 (金)	研 究 発 表	研 究 発 表	懇 親 会
12 日 (土)	(10時30分より) シンポジウム	シンポジウム	

- ★ 10日正午より評議員会, 11日正午より総会, 12日正午より理事会を開催致します。
- ★ 第1日の第1会場, 第2会場はいずれも東大医学部総合中央館3階。総合中央館は赤門から入ると医学部本館の東裏手にあたり, 竜岡門から入ると最初の十字路の左手にある。

シンポジウム

5月12日(土)

- I. 午前10時30分より
大協直明: 球状星団について…………… 90分
- II. 午後1時より
西 恵 三: 太陽面の微細現象…………… 90分

講演予稿集について: 特別会員には1部ずつ無料で配布しますが, その他の方および特別会員で2部以上希望される方は1部につき実費50円, 送料10円をお送り下さい。年会講演の当日会場でもおわけします。

第 1 日 5 月 10 日 (木)

第 1 会場

[午前] (9時より)

	分
A 1. 坂本嘉親: 月面の地形と成因	10
2. 佐藤明達 (大阪電気科学館): 南天早見	10
3. 若生康二郎 (緯度観測所): 連鎖法による赤緯補正	7
4. 角田忠一 ("): 服部系による経度系 1900.0	10
5. 角田忠一, 石井 久 ("): PZT の C.E. における光行差常数誤差と気象要素の分離の試み	7
6. 切田正実, 村上源吉 ("): 水沢 PZT 乾板常数の温度係数	10
7. 植前繁美 ("): 国際緯度観測用星対の視位置計算に就いて	10
8. 須川 力 ("): Washington と Richmond における z 項について	15
9. " ("): I L S 星 Catalogue と赤緯補正の比較	10
10. 高木重次 ("): ワシントンと水沢の PZT による緯度観測の比較	10

[午後] (1時より)

11. 山崎 昭, 東 昇 (水路部): ラエ日食観測報告 (I)	5
12. 安田春雄, 深谷力之助, 原 寿男 (東京天文台): 月・惑星子午線観測結果とその reduction について	7
13. 関口直甫 ("): 北極附近の星の固有運動	5
14. 飯島重孝, 岡崎清市 (") 時刻観測の材料による極軌道の解析 (II)	10
15. 飯島重孝 ("): 緯度の北極と経度の北極について	7
16. 飯島重孝, 藤原 清, 酒井照夫, 原 孝, 虎尾三春 ("): 長波受信による国際周波数比較 (III)	10
17. 飯島重孝 ("): 周波数標準の国際精度	7
18. 霜田光一, 河野 昇* (東大理, *東京天文台): アンモニア原子時計と米国のセシウム標準との比較について	7
19. 角田忠一 (緯度観測所): 核表面の熱対流と核・マントルの廻転運動	10
20. 堀 源一郎 (東大理): 人工衛星に及ぼす太陽輻射圧の影響	10
21. 竹内端夫 (東京天文台): 小惑星 (279) Thule の長周期摂動 (II)	8

第 2 会場

[午前] (9時より)

	分
B 1. 浜名茂男, 深津正鏞 (東京天文台): フレアの東西非対称特性について	7
2. 積田寿久, 水垣和夫, 鈴木利和 ("): 地磁気に影響あるフレアについて	7
3. 堀井政三 (京大理): flare の yellow corona との関連性	15
4. 長沢進午, 大城義名, 清水一郎 (東京天文台): 乗鞍コロナ観測所の K-コロナメーター	10
5. 大脇直明 (水路部): ニューギニア日食におけるコロナ直接像の特殊撮影	10

分

6. 斎藤国治, 秦 茂 (東京天文台): ニューギニア日食における 四連カメラ観測 (予備報告).....	7
7. 川口市郎, 富永 進, 久保田 諄 (花山天文台): 1962年ラエ皆既日食 における閃光スペクトル.....	5
8. 川口市郎 (//): スピキュール及びプロミネンスと coronal streamer の関係.....	5
9. 末元善三郎, 守山史生 (東京天文台): 彩層コロナ間の境界層について(II).....	10
10. 小山 伸 (香川大): 太陽の紫外輝線強度と太陽彩層-コロナ転移層の 電子温度, 電子密度の分布について.....	10
11. 内田 豊 (東大理): 太陽紅炎の形成過程について.....	10
12. 平山 淳 (東京天文台): 紅炎及び太陽面爆発の分光分析.....	10
〔午後〕 (1時より)	
13. 鈴木義正 (京都学芸大): 黒点半暗部の最小幅について.....	8
14. 牧田 貢 (東京天文台): 黒点半暗部の物理的状态.....	15
15. // (//): 黒点暗部のモデル.....	15
16. 西 恵三, 牧田 貢, 海野和三郎* (東京天文台, *東大理): 太陽黒点磁場の 観測について.....	5
17. 河鯨公昭 (東京天文台): フレアの時のコロナのモデル.....	7
18. 河鯨公昭, 森本雅樹, 吉田セキ子*, 長島一男* (東京天文台, *名大理): 太陽低エネルギー宇宙線と太陽面現象.....	10
19. 甲斐敬造 (東京学芸大): IV型バーストの直線偏波.....	10
20. 高倉達雄 (東京天文台): IV型バーストのスペクトルと指向性.....	10
21. 柿沼隆清 (名大空電研究所): S成分源のシンクロトロン モデルについて.....	10
22. 田中利一郎 (新潟大): デシメーター波バーストの発生について.....	7
23. 中込慶光, 西 恵三 (東京天文台): コロナ輝線と太陽電波 1420 Mc/s との関係について.....	7
24. 田中春夫, 柿沼隆清 (名大空電研究所): 2-4 Gc/s 帯太陽電波動スペクトル 観測装置.....	10
25. 土屋 淳 (東京天文台): 300 Mc/s 偏波観測装置について.....	10
26. 赤羽賢司, 長根 潔 (//): 21 極水素線観測装置について(II).....	10

第 2 日 5 月 11 日 (金)

〔午前〕 (9時より)	分
C 1. 高柳和智 (京大理): 準矮星の運動 (III).....	5
2. 今川文彦 (//): F型星の分布と運動.....	5
3. 進士 晃 (水路部): ケフェイドの z 方向の運動.....	5
4. 石田蕙一 (東京天文台): 連星系の軌道面の方向分布.....	5
5. 清水 壘 (京大理): 銀河中心核附近における中性水素雲の運動.....	7
6. 堀 源一郎 (東大理): シュミットの銀河系の中での質点の運動.....	10
7. 石田蕙一 (東京天文台): 星間雲の質量分布モデル.....	10
8. 海野和三郎, 下田真弘 (東大理): 星間雲のモデル.....	10

	分
9. 木村 博 (東大理): 星間塵に対する高エネルギー粒子の影響	7
10. 大木俊夫 (東北大理): 銀河系の磁気力学的研究(III)	10
11. 藤本光昭 (//): 銀河系の磁気力学的研究(IV)	8
12. // (//): 棒状銀河系のガスの運動	8
13. 高窪啓弥 (//): spiral arm の周縁について	10
〔午後〕 (1時より)	
14. 小暮智一 (京大理): Be 星のバルマー減滅率について (III)	7
15. 成相恭二, 大沢清輝* (東大理, *東京天文台): 水素欠乏星 HD 30353 の解析 (I)	10
16. 齊藤澄三郎, 上杉 明* (京大理, *花山天文台): α CMi と γ Gem のスペクトル	5
17. 藤田良雄, 山下泰正 (東大理): りょうけん座 Y 星のスペクトルの同定	10
18. 藤田良雄, 山下泰正, 上条文夫, 辻 隆, 内海和彦 (//): 低温度星の比較研究	10
19. 藤田良雄*, 山下泰正**, 西村史朗***, 上条文夫**, 辻 隆**, 内海和彦** (*東大理及び東京天文台, **東大理, ***東京天文台): 低温度星の赤外 スペクトルの観測	10
20. 辻 隆 (東大理): S 型星 HD 216672 と HD 22649 の分光測光	10
21. 山下泰正, 海野和三郎 (//): 生長曲線の大气モデルによる違い	10
22. 山下泰正, 内海和彦 (//): M 2 型巨星 β Peg の分光測光	10
23. 上条文夫 (//): 長周期変光星の大气(V)	10
24. 海野和三郎, 尾崎洋二 (//): 非灰色大气の理論(III)	10
25. 海野和三郎, 山下泰正 (//): 切断された等価幅の生長曲線	10
26. 加藤正二, 海野和三郎 (//): 大气乱流からの音波の発生(続)	10
27. 山口七郎 (京大理): 等方性を仮定した場合の対流スペクトル	7
28. 加藤正二 (東大理): 輻射圧による対流不安定	5
29. 上野季夫 (京大理): 非定常輻射輸達方程式の厳密解について	7

第 3 日 5 月 12 日 (土)

〔午前〕 (10時30分より)

シンポジウム I	分 90
----------	---------

〔午後〕 (1時より)

シンポジウム II	90
-----------	----